

【児童への話】

今日は10月17日月曜日、皆さんが今の学年になって100日と少し、学校での生活が過ぎました。1年間の学校生活は200日と少しですので、ここからが折り返しとなります。

新型コロナウイルス感染症の状況は少し落ち着いたように見えますが、いつ、誰がかかってもおかしくない状況は変わっていません。これからも、番町小のみんなが、自分のことや友だちのことを大切に思い、感染予防を同じように続けながら、残り半分となった学校の生活を頑張っていきましょう。

さて、校長先生は、4月の始業式で番町小学校の「考える子 思いやる子 やりぬく子」の目標から、皆さんが頑張ることについて、「一日ひとつ」というお話をしました。折り返し地点の今日、自分の学校での生活を確かめてみましょう。目を閉じてください。

一日ひとつ 学校でのお勉強を頑張って、「考える子」になれましたか？

一日ひとつ 人のためになることをして、「思いやる子」になれましたか？

一日ひとつ 自分が元気になることをして、「やりぬく子」になれましたか？

目を開けましょう。一日ひとつ、皆さんが頑張れたことは何ですか？自分が頑張れたこと、そして、あまりできなかったからこれから頑張っていきたいことを、振り返ってください。皆さんが今日まで頑張ってきたこと、楽しみながら取り組んできたことは、ひとつも無駄にはなりません。自分の成長のためにコツコツと努力を続ける番町小の皆さんを、校長先生はとても素晴らしいと思います。そしてこれからも、頑張る皆さんと学校で過ごせるのを楽しみにしています。

今日は、「一日ひとつ 頑張ること」について、お話ししました。

【本講話について】

令和4年度が折り返しとなりました。年度当初に保護者、地域の皆様にお伝えしたとおり、教育目標「考える子 思いやる子 やりぬく子」の実現のために子ども自身が頑張ることとして、『一日ひとつ』のキーワードを挙げています。定期的にこのキーワードを投げかけながら、社会の立派な一員となる土台を構築すべく、残り半分となった教育活動をさらに充実させていきます。

また、教員には、「一日ひとつ 子どもにお土産を持たせて帰してあげましょう」と話しています。子ども一人ひとりが、今日も学校に来てよかったなと思い、自分の日々の成長を実感できるよう、様々な工夫を凝らしながら全力で取り組んでいきます。今後とも、ご家庭のご協力をお願いいたします。